

科目名	映像リテラシーD2							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	放送芸術科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	馬場定雄		教員の実務経験			実務経験の職種			
【科目の目的】 映像技術が目まぐるしく変化する現代に映画・テレビ・ネット配信にとどまらない色々な映像機器の種類を学び今後の5G時代に向けて映像作品を制作する上での基礎技術力を取得。									
【科目の概要】 この授業では、現代までの映像技術から最新の技術までのハードウェア及びソフトウェアの知識を学びその知識を元に想像力・発想力を膨らませ最終的には個々の技術力の向上を伸ばすことが目的である。									
【到達目標】 これまで学習して来た映像技術をさらに一段階あげ最新の映像制作における映像技術の知識や様々な製作プロセスを理解し総合的な技術力の総仕上げとする。									
【授業の注意点】 この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。社会の桃子公に注意し自分でも、情報を収集、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう					レベル1 要努力	
到達目標A 映像視聴の各種端末の理解	DVD、Bluray、コピー、モニタなどの機能を正しく理解している		DVD、Bluray、コピー、モニタなどの機能がある程度理解している					理解がおぼつかない	
到達目標B 中継の理解	中継、ライブ配信の技術を正しく理解している		中継、ライブ配信の技術がある程度理解している					中継、ライブ配信の技術を理解していない	
到達目標C 映像信号の理解	同軸ケーブルやコンポジットなど映像信号について正しく理解している		同軸ケーブルやコンポジットなど映像信号についてある程度理解している					映像信号について理解していない	
【教科書】 毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】 毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【成績の評価方法・評価基準】									

期末試験						
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。						
科目名		映像リテラシーD 2			年度	2025
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	CPRM+VR方式について		CPRM+VR方式	身近な家電製品(DVDやブルーレイディスクなど)に使われているコピー制御方式や録画方式を知る		
2	DVDとブルーレイディスクについて		DVDとブルーレイディスクについて	身近な家電製品(DVDやブルーレイディスクなど)に使われている技術やシステムの違いを理解する		
3	モニターの種類(1)CRTと液晶テレビ		モニターの種類(1)	普段目にしてしているテレビが実際にどのような技術で画像表示されているのか特徴や違いを理解する①		
			CRTと液晶テレビ			
4	モニターの種類(2)プラズマと有機E		モニターの種類(2)	普段目にしてしているテレビが実際にどのような技術で画像表示されているのか特徴や違い		
			プラズマと有機E			
5	ENGとENG機材の進化について		ENGとENG機材の進化について	ENGで使用されてきたカメラやVTRの種類を歴史的観点から見てENG機材の技術の進化を理解する		
6	SONY新商品内見会について		SONY新商品内見会	毎年6月に行なわれるSONY新商品内見会を分かりやすく解説して最新技術を理解する		
7	FPUとSNGの伝送システムについて		FPUとSNGの伝送	中継システムのFPUとSNGの特徴と違いを理解		
			システムについて	する。またモバイル通信やライブ配信も理解		
8	映像コネクタの種類について		映像コネクタの種類	RCA、S端子、BNC、HDMIなど放送局や家庭用		
			種類について	で使われている映像コネクタの種類を理解		
9	映像ケーブルの種類について		映像ケーブルの種類	一般的に使用されている同軸ケーブルの種類		
			種類について	や構造を理解する		
10	映像信号の種類(1)コンポジット		映像信号の種類(1)	映像信号のアナログコンポジットの特徴や		
			コンポジット	構造を理解する		
11	映像信号の種類(2)コンポーネント		映像信号の種類(2)	映像信号のデジタルコンポーネントの特徴や		
			コンポーネント	構造を理解する		
12	映像信号の種類(3)デジタルとアナログ		映像信号の種類(3)	現在の主流であるデジタル信号の解説とレコ		
			デジタルとアナログ	ードを例としたアナログ信号の特徴と違いを		
				理解する		

13	映像信号の種類 (4)コンポーネント4:2:2		映像信号の種類(4)	現行の放送機器に最も多く使用されている		
			コンポーネント	コンポーネント4:2:2方式を理解する		
			4:02:02			
14	映像信号の種類 (5)RGB4:4:4		映像信号の種類(5)	これからの放送機器に使用される		
			RGB4:4:4	RGB4:4:4方式を理解する		
15	後期まとめ復習		後期まとめ復習	後期の内容まとめと復習		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						